

**平成 27 年度北海道大学大学院保健科学院保健科学専攻
修士課程 学生募集要項**

1. 専攻及び募集人数

保健科学専攻	}	26名
保健科学コース		
看護学コース		

- (1) 募集人数 26 名には、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の募集人数を含む。
- (2) 募集人数 26 名には、看護学コースの公衆衛生看護学科目群、助産学科目群、高度実践看護学科目群の募集人数、各若干名を含む。
- (3) 出願に先立ち、志望する教育研究領域の教員（P11～13 参照）と研究内容について事前に相談すること。

2. 教育研究コース・科目群（領域）

専攻	コース	科目群（教育研究領域）
保健科学専攻	保健科学コース	生 体 量 子 科 学 生 体 情 報 科 学 リハビリテーション科学 健 康 科 学
	看護学コース	看 護 学 公 衆 衛 生 看 護 学 助 産 学 高 度 実 践 看 護 学

3. 出願資格

【一般選抜】

次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成 27 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成 27 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (8) 大学に 3 年以上在学し、保健科学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者
- (9) 外国において学校教育における 15 年の課程、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程、若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、保健科学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者

- (10) 保健科学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 27 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者
- (11) 看護学コース入学志願者のうち、公衆衛生看護学科目群、助産学科目群を志望することができる者は、(1)～(10)のいずれかに該当する出願資格を有し、かつ、看護師免許(平成 27 年 3 月 31 日までに取得見込みを含む。)を有すること。
- (12) 看護学コース入学志願者のうち、高度実践看護学科目群を志望することができる者は、(1)～(10)のいずれかに該当する出願資格を有し、かつ、看護師として 5 年以上の実務経験を有すること。

※ 出願資格(10)の「個別の入学資格審査」は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校やその他の教育施設の卒業又は修了者等で大学卒業の資格を有しない者について、研究歴や実務経験等の個人の能力について個別に審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者について出願を受付け、受験を許可する。

※ 出願資格(8),(9)又は(10)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行うので、「9. 出願資格審査(P6)」により出願前に出願資格の認定を受けること。

【社会人特別選抜】

上記「一般選抜」の(1)から(12)の出願資格のいずれかに該当する者で、かつ、平成 27 年 4 月時点で、医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において、2 年以上の専門的な実務経験(通算可)を有し、入学後もその身分を継続する者。なお、この選抜により入学した社会人は、大学院での学修を容易とするための「大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例」の制度を活用することができる。

- ・第 14 条適用希望者は、入学願書の第 14 条適用希望有無欄に○印で表記してください。
- ・ただし、看護学コース公衆衛生看護学科目群、助産学科目群、高度実践看護学科目群で開講される実習科目及び実践看護研究については、第 14 条の適用はありません。

※ 参考：大学院設置基準第 14 条(昭和 49 年文部省令第 28 号抜粋)

第 14 条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

【外国人留学生特別選抜】

上記(3)から(5)、(9)、(10)の出願資格のいずれかに該当し、

- ・国費(日本国政府(文部科学省)奨学金による)留学を希望する場合

日本政府(文部科学省)奨学金の申請にあたって「受入内諾書(Letter of Acceptance)」が必要な場合は、希望する研究分野の教員に直接受入を依頼し、内諾が得られた場合は教員に「受入内諾書」を記入してもらう。

- ・私費留学を希望する場合

入学したい研究分野の教員の「受入教員の推薦書」が必要。

4. 出願手続

(1) 出願期間

平成 26 年 7 月 10 日(木)から平成 26 年 7 月 18 日(金)午後 5 時まで

受付時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時まで(土日を除く)

(郵送による場合は書留速達とし、出願期間内必着のこと)

※外国人留学生特別選抜の出願方法

①インターネット出願

- I. 北海道大学のホームページインターネット出願サイトにアクセスすること。

(<http://e-apply.jp/e/hokudai-hs/>)

注 1) 事前に操作手順や注意事項を必ず確認すること。

注 2) 本サイト利用にあたり、必要書類の出力、申込み及び入学検定料支払いの完了メールの通知を受信するため、プリンター及びメールアドレスが必要となる。必ず事前にプリンター及びメールアドレス(携帯電話のメールアドレスは不可)を用意すること。

- II. 画面のガイダンスに従い必要事項を選択、入力すること。

Ⅲ. 必要事項の入力が正常に完了すると、登録されたメールアドレス宛に「出願完了メール」が届く。

②検定料の支払い

I. インターネット出願後に表示される支払手続き画面に従い、支払手続きを行うこと。
次の a)～c)のいずれかの方法により支払うこと。

a) クレジットカードによる支払い

「カード番号」「有効期限」「カード名義」「セキュリティコード」を入力すること。

b) Pay-easy(銀行ATM, ゆうちょ銀行ATM, ネットバンキング), コンビニエンスストア, ジャパンネット銀行, 楽天銀行による支払い

【Pay-easy の場合】

支払機関選択後に発行される「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を必ずメモし、Pay-easy 対応ATMで支払うこと。

【コンビニエンスストアの場合】

支払機関選択後に発行される「お客様番号」「確認番号」又は「オンライン決済番号」を必ずメモし、コンビニエンスストアで支払うこと。

(ローソン, ファミリーマート, サークルKサンクス, ミニストップ, デイリーヤマザキにて利用可能)

【ジャパンネット銀行, 楽天銀行の場合】

画面の説明に従い支払うこと。

c) 中国銀聯網決済(ChinaPay)による支払い

各銀行の支払い画面にて、「銀行口座番号」「有効期限」「パスワード」などの支払い情報を入力し支払うこと。

II. 支払機関により支払に必要な情報や方法が異なるので、画面の説明を必ず確認すること。
☆クレジットカード又は中国銀聯網決済による支払ができない者で、出願時に海外に在住する者は、日本国内にいる者に依頼し、a)又はb)の支払方法より支払うこと。

③出願書類の郵送

I. インターネット出願後に作成される願書, 及びその他出願に必要な書類を(郵送の場合は願書と一緒に印刷される宛名ラベルを封筒に貼り)出願期間内に提出(郵送)すること。

II. 全ての書類が本学に到着した時点をもって出願手続完了となる。インターネットで出願登録を行っただけでは出願手続完了としないので注意すること。

④インターネット出願に関する問い合わせ

・問い合わせ方法

電話又は電子メールによること。

「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター

電話 : 0120-708898 ※フリーダイヤルが利用できない場合 03-5804-5515

E-mail : cvs-web@disc.co.jp

(2) 出願書類及び検定料

【一般選抜】

1	入学願書	所定の用紙
2	受験票・写真票	所定の用紙 必要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm, 正面・上半身・無帽・無背景で出願前3ヶ月以内に撮影したもの)の裏面に氏名を記入のうえ、所定欄に各1枚貼付すること。
3	志望理由書	所定の用紙
4	卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学(学部)長が作成したもの 出願資格(8), (9)又は(10)の者は、入学資格審査結果の(写)
5	成績証明書	出身大学(学部)長が作成し、厳封したもの (出願資格審査を受け、提出している場合は省略)
6	検定料	30,000円 最寄りの郵便局又は銀行において、添付の振込用紙(郵便局・銀行併用・5票式)により納付すること。
7	検定料受付証明書台紙	氏名を記入し、上記の入学検定料を納付した際に交付される「検定料受付証明書」を指定欄に貼付すること。
8	受験票送付用封筒	所定の封筒に志願者の住所、氏名、郵便番号を記入し、定形料金の切手(82円)を貼ったもの。

9	宛名票	所定の用紙 2カ所に志願者の住所、氏名、郵便番号を記入したもの 入学手続き関係書類及び試験結果通知書送付用
10	外国人登録済証明書	日本に在住している外国人は、在留資格が明記されている証明書を提出すること。
11	【公衆衛生看護学・助産学・高度実践看護学科目群を志願する方のみ】 看護師免許証（写）又は登録済証明書（写）	公衆衛生看護学科目群、助産学科目群、高度実践看護学科目群を志願する者は、出願時に看護師免許を有する者は看護師免許証（写）を提出すること。看護師免許取得見込みの者は国家試験終了後、すみやかに厚生労働省発行の登録済証明書（写）を提出すること。 提出しなかった場合は、入学を取り消すことがある。

注1 4, 5は、北海道大学医療技術短期大学部卒業生及び北海道大学医学部保健学科卒業（見込を含む）者は提出不要。

注2 学位授与機構からの学士の学位授与者は、学位授与証明書及び学位授与審査を受けた修得単位に係る成績証明書を添付すること。

【社会人特別選抜】

社会人特別選抜による出願者は、上記の一般選抜による出願書類等の他に、下記書類を併せて提出すること。

12	就学承諾書	所定の用紙 所属長が発行したもの
13	在職期間証明書	在職時の職名、勤務期間を証明できる書類（任意の様式） （出願資格審査を受け、提出している場合は省略）

【外国人留学生特別選抜】

外国人留学生特別選抜による出願者は、1～10の書類を準備し、出願期間内に提出すること。

1	入学願書	インターネット出願サイトにて、必要事項の入力後に作成される願書をA4判で印刷し、出願前3ヶ月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真（縦4cm×横3cm）を所定の欄に貼ること。（履歴事項を含む）
2	受験票・写真票	インターネット出願サイトにて、願書と一緒に印刷される写真票に、出願前3ヶ月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真（縦4cm×横3cm）を所定の欄に貼ること。なお、写真の裏には、氏名を記入すること。
3	推薦書	所属長または最終出身学校の校長もしくは教員の推薦書
4	卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学の長が証明したもの（英文または和文）
5	成績証明書	出身大学の長が証明したもの（英文または和文）
6	志望理由書	A4判2枚程度（書式は任意、手書き不可）
7	検定料	30,000円 《納入方法》 ① 検定料は、インターネット出願後に表示される支払手続き画面に従い、支払手続きをとること。支払方法は以下のとおり。 Ⅰ. クレジットカードによる支払い （VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS等） Ⅱ. Pay-easy（銀行ATM, ゆうちょ銀行ATM, ネットバンキング）, コンビニエンスストア, ジャパンネット銀行, 楽天銀行による支払い（支払方法の選択後に発行される各種支払用の番号を忘れずにメモし、各支払機関に持参すること。） Ⅲ. 中国銀聯網決済(ChinaPay)による支払い 注) クレジットカード又は中国銀聯網決済(ChinaPay)で支払ができない者で、出願時に海外に居住する者は、日本国内にいる者に依頼して、Ⅰ又はⅡのいずれかの方法により支払うこと。 ② 普通為替や現金では受理できないので、注意すること。 ③ 支払後に受け取るお客様控え又は支払完了通知メールを印刷したものは、本人の控えとして大切に保管すること。

8	語学力を証明する書類 (英語・日本語)	英語 (TOEFL 試験成績) (原本) 日本語 (日本語検定試験結果, 予め研究生として本学に在籍している学生は留学生センターの講義受講修了証でも可)
9	受入内諾書または 受入教員の推薦書	A4判1枚程度 (書式は任意, 手書き不可) (入学したいコースの科目群の受入予定教員が記入したもの)
10	その他	「学費を保障する書類」「パスポート(写)または在留カード(写)」

(3) 出願書類提出先

060-0812 札幌市北区北12条西5丁目
北海道大学医学系事務部保健科学研究所事務課教務担当 電話: 011-706-3318

(4) 出願にあたっての注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は受理しないことがある。誤記又は記入漏れのないことを確認すること。
- ② 出願書類の受理後は, 提出された出願書類の返却及び変更には応じない。
- ③ 出願書類の記載内容が事実と相違する場合は, 入学を取り消すことがある。
- ④ 改姓等により卒業証明書等の氏名が異なっている場合は, 戸籍抄本を添付すること。
- ⑤ 郵送により出願する場合は, 綴じ込みの封筒を使用して書留速達とすること。また, 持参する場合も, 同封筒に出願書類を入れて提出すること。
- ⑥ 身体に障害を有する者で, 受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は, 出願期間前までに書類提出先の保健科学研究所事務課教務担当に申し出ること。
- ⑦ 7頁の「10.長期履修制度について」に申請する場合は, 同制度への申請書を出願書類提出時に併せて申し出ることになっているので注意すること。
- ⑧ 既納の検定料は次の場合を除き, 返還しない。
 - a) 検定料を納付したが, 出願しなかった場合又は出願書類に不備があり受理されなかった場合
 - b) 検定料を誤って二重に納付した場合
 ※ 上記に該当する場合は, 保健科学研究所事務課教務担当へ請求すること。
 なお, 返還には相当の日数を要するので予めご了承願います。
 また, 返還の請求に, 検定料納付の際に金融機関から発行される「検定料受付証明書」又は「振替払込請求書兼受領書 (払込金 (兼手数料) 受領書)」が必要になるので大切に保管願います。

5. 入学者選抜方法

学力試験, 面接及び提出された出願書類の審査結果を総合して判定する。
ただし, 外国人留学生特別選抜の出願者については, 出願書類の審査により判定する。

6. 試験日程及び試験科目等

(1) 学力試験日

平成26年8月26日 (火)

(2) 試験科目・時間・試験場 (一般選抜・社会人特別選抜)

試験日	時間	試験科目等	試験区分	試験場
平成26年 8月26日(火)	9:00~11:30	外国語(英語)※ 【TOEFL-ITP】	筆答	北海道大学高等教育推進機構 E 棟 (札幌市北区北17条西8丁目)
	12:30~13:30	専門科目 ※※	筆答	
	14:00~	面接	口述	

※ 辞書持ち込み不可

※※専門科目は, 下記のとおり, 志望するコース・科目群により内容が異なります。

コース	保健科学コース	看護学コース	
		看護学科目群	公衆衛生看護学・助産学・高度実践看護学科目群
外国語(英語) 【TOEFL-ITP】	○	○	○
専門科目(小論文)	○	○	
専門科目(各科目群 出題の筆記試験)			○
面接	○	○	○

7. 合格者発表

平成26年9月19日（金）午前10時（ホームページ掲載は午前10時30分頃）
大学院保健科学院玄関掲示板に掲示すると共に保健科学院ホームページに掲載発表する。
また、受験生には郵送により通知する。（<http://www.hs.hokudai.ac.jp/>）
電話等による可否の問い合わせには、一切応じない。

8. 入学手続等

- (1) 入学に関する手続き方法及び入学手続き期間等の詳細は、合格通知書送付時に通知する。
- (2) 授業料等学生納付金
 - ① 入学金：282,000円（予定額）
 - ② 授業料：前期分 267,900円（予定額），年額 535,800円（予定額）
 - 注1 上記の納付金は予定額であり，入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には，改訂時から新たな納付金が適用される。
 - 注2 入学金及び授業料には，徴収の猶予・納付の免除制度があり，手続き方法の詳細は，合格通知書送付時に通知する。

9. 出願資格審査

出願資格(8), (9)又は(10)により出願しようとする者は，下記により出願資格の認定を受けること。

(1) 提出期間

平成26年6月25日（水）から7月1日（火）午後5時まで

受付時間：午前8時30分から午後5時まで（土日を除く）

（郵送による場合は書留速達とし，提出期間内必着のこと）

(2) 提出書類

1) 出願資格(8)又は(9)により出願しようとする者

① 出願資格審査申請書	所定の用紙
② 成績証明書	在籍大学（学部）長等が発行したもの（厳封のもの）
③ 在学証明書	在籍大学（学部）長等が発行した在学期間に入ったもの
④ 推薦書	在籍する大学の長（学長，学部長等）が作成したもの（厳封のもの）
⑤ 返信用封筒	審査結果通知用：長形3号の封筒に宛先を明記し，362円切手を貼付したもの

2) 出願資格(10)により出願しようとする者

① 出願資格審査申請書	所定の用紙
② 最終学校成績証明書	出身学校長等が発行したもの（厳封のもの）
③ 最終学校卒業証明書	出身学校長等が発行したもの
④ 在職期間証明書	技術的・専門的職業についての職歴を有する者は，その期間及び職務内容を明記した機関の長等が作成したもの
⑤ 自己推薦書	所定の用紙：研究歴や実務経験，研究業績等がある場合は，証明する書類の（写）を添付すること
⑥ 最終学歴に関する資料	短期大学，高等専門学校，専修学校及び各種学校の卒業者は，当該課程の入学資格，卒業要件（在学期間・授業科目・単位数）及び卒業に必要な授業科目のシラバス等（授業内容が記載されているもの）
⑦ 返信用封筒	審査結果通知用：長形3号の封筒に宛先を明記し，362円切手を貼付したもの

注1 ②，③は，高等学校卒業以上の学歴について証明書を提出すること。

注2 ②，③及び⑥は，北海道大学医療技術短期大学部卒業分は提出不要。

(3) 提出方法・提出先

① 封筒の表に「保健科学院修士課程出願資格審査書類在中」と朱書きすること。

② 提出先

060-0812 札幌市北区北12条西5丁目

北海道大学医学系事務部保健科学研究所事務課教務担当

(4) 審査方法

提出された書類により、修得した単位数及び成績並びに研究・実務経験等の内容を個別に審査する。なお、審査する上で必要と認めた場合は、上記以外の書類の提出を求めることがある。

(5) 審査結果の通知

出願資格審査結果は、平成26年7月9日（水）に郵送により通知する。

10. 長期履修制度について

職業を有する等（介護・育児等を含む）の事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定（4年を超えない期間）にわたり計画的に教育課程を履修して修了することができる。なお、長期履修の可否は、審査の上決定する。

また、本制度に申請する場合は、入学願書提出時に申し出なければならないので、早めに計画すること。

詳細は、出願書類提出先（保健科学研究所事務課教務担当）まで問い合わせること。

11. 個人情報の取り扱いについて

本学では、出願の際に提出された入学願書等に記載されている氏名、性別、生年月日、住所及びその他の個人情報は、入学者選抜（出願処理、選考）、合格発表及び入学手続（入学時に必要な経費の通知、書類の送付、入学後の連絡事項）並びに学籍・成績管理を行うために利用します。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に利用しません。

ただし、上記個人情報のうち、氏名、住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である北海道大学体育会や財団法人北海道大学クラーク記念財団からの連絡、及び本学院主催の行事案内を行うために利用する場合があります。

保健科学院 保健科学専攻

1. 教育上の理念・目的

- 最新の知識と実践技術を有する高度医療専門職者および指導者の育成
- 次世代の保健科学を担う高度医療専門職者および教育・研究者の育成
- 専門分野をこえて世界の保健科学研究をリードする研究者の育成

生命医科学や科学技術の急速な進歩・発展により、移植医療、再生医療、生殖医療、遺伝子治療など医療の高度先進化と専門化・細分化と共に、診断・治療機器の高度複雑化、遠隔医療支援システムなど新医療システムの実現化が進行している。このような高度先進医療が広く浸透するにつれて、国民にも高度先進医療への関心や高度医療志向が高まりつつある。これら高度先進医療を支援し、今後さらに発展させ推進するためには、専門医師のみならず、それぞれの高度先進医療に即応しうる確かな専門的知識と優れた医療技術を修得した看護師、保健師、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士などの高度医療専門職者（Advanced Health Professionals）の養成が不可欠である。

一方、日本社会は現在、豊かな国民生活を送る上で保健医療において非常に大きな諸問題にも直面している。その第一は、少子化・高齢化による人口構成の急速な変化である。すなわち先進国のなかでも日本では類を見ない速度で高齢化が進んでいる。このことは、疾病構造が高齢者型へ移行し、障害者・要介護者及び高齢者単独世帯の急増を予測させ、在宅ケアを始めとする自立支援・地域生活支援や運動・生活機能の回復支援に対して、効率的かつ経済的な新しい方法論を創出し、それを実践推進する高度医療専門スタッフの人材養成が重要であることを意味する。

第二は、中高年世代においても、不規則な夜型生活、偏った食事、運動不足や睡眠不足などライフスタイルの大幅な変化により、生活習慣病に繋がる可能性の高いメタボリック症候群及びその予備群人口の急激な増加が明らかにされたことである（「平成16年度国民健康・栄養調査結果」）。この調査結果は、個々人の生活習慣病へのリスクを総合的かつ科学的に判断し、特定健診・特定保健指導などの新たな健康政策を地域や企業等で推進したり、健康づくりを自らコーディネートできる高度保健スタッフの育成も急務であることを示している。

さらに、こうした保健医療上の諸問題は、国民における健康増進や疾病予防への関心度を大いに高め、将来にわたるQOL（Quality of Life：生活・生命の質）の維持を重視した新たな健康価値観を生み出している。しかし、時には健康食品や輸入食品、サプリメントへの過剰な依存あるいは科学的根拠の希薄な保健情報への過剰反応が社会問題化することもある。このような状況に対して、疾病への専門的知識を背景として、保健情報の妥当性を判断し、正確な保健情報を積極的に発信できる高度医療専門職者の育成も求められている。

本保健科学院は、これらの医療上のニーズ及び社会的ニーズに応えるため、学部教育で培った専門的な医療技術や知識をスキルアップし、また、専門職としての実務経験を生かして、それぞれの専門分野で高度な専門的判断能力と倫理性及び最新の医療技術の実践的能力を有する指導的役割を担う人材やEBH（Evidence-Based Health：科学的根拠に基づく保健）を導入した次世代の保健科学を担う高度医療専門職者・教育者・研究者を育成し、また、国際的視野から世界の保健科学研究をリードしうる研究者を育成する。

2. アドミッション・ポリシー（求める学生像）

- ・本保健科学院は、保健科学における専門技術を高めると共に、様々な分野の融合と連携を通して、学術的な発展を目指すべく、保健医療系の学部教育を受けた学生のみならず、異なる背景の学問を身につけた学生を受け入れ、地域や文化、国籍を問わず、広く人材を求める。
- ・本保健科学院の教育理念に基づいた人材育成を図るため、それにふさわしい意欲・学力・創造力
- ・論理性・リーダーシップを有する学生を選抜する。

3. 各コースの概要

1) 保健科学コース

保健科学コースでは主に保健医療系学部・学科を卒業した医療技術者に対する人材育成を行う。

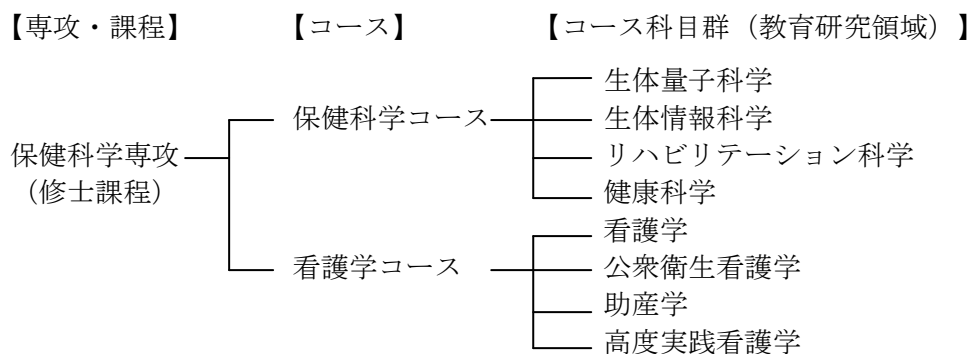
- (1) 診療放射線技師および臨床検査技師を対象として、新しい放射線診断・治療システムや臨床検査システムに関する基礎から臨床までの総合的知識と専門的技術を有する高度専門技術者および高度先進技術の指導的役割を担うリーダーの育成並びに新規医療技術や医療システムの開発研究に携わる研究者を志向する人材を育成する。
- (2) 理学療法士および作業療法士を対象として、リハビリテーション科学を基盤とした理学療法領域、作業療法領域等の最新の知識と専門技術、課題探求・問題解決能力を備えた学識豊かな高度医療専門職者を育成する。
- (3) 保健医療や保健科学に関心があり、EBHを実践しようとする栄養士や健康運動指導士なども受け入れ、医療関係者と連携できる医学的知識や検査技術を修得させる。
- (4) 学会が認定する専門士資格取得を目指す者には、大学病院等の教育医療機関との連携により、指導者の下で実務経験を積み、資格取得への初期研修と位置付ける。
- (5) 新技術の開発研究に従事する研究者や高度医療専門職を育成する教育者を目指す者には、個別の課題研究や研究指導を通じて、探求心や研究能力を涵養し、そのうえで、博士課程へ進学する力を身につけさせる。

2) 看護学コース

看護学コースでは、主に保健医療系学部・学科を卒業した、看護師、保健師、助産師に対する人材育成を行う。

- (1) 看護学及び関連領域における最新の知識と技術、倫理的判断力、企画評価能力及びグローバルな視野を備えた、教育・研究を担う学識豊かな人材を育成する。
- (2) 看護実践領域における最新の知識、専門技術および判断力を備え、倫理問題や複雑な健康課題に対応でき、指導的役割を担う専門性の高い実践能力を有する人材を育成する。
- (3) 看護系教育機関で看護師、保健師、助産師を育成する教員を目指す者には、個別の課題研究や研究指導を通じて、探求心や研究能力を涵養し、そのうえで、博士課程へ進学する力を身につけさせる。

4. 専攻・コース・コース科目群(領域)等



5. 履修方法・修了要件・学位授与及び修了後の進路

1) 履修方法

- (1) 履修上の区分として専門領域の人材育成理念に対応するコース制すなわち、保健科学コースと看護学コースを導入し、この教育課程を構築するために、各コースの人材育成にも関連する専攻共通基礎科目のほか、各コースの履修者における専門性を追求するコース科目群を各年次・各学期に配置し、より体系的な履修が可能となるようにした。
- (2) 原則として講義形式の「特論」は1年次1学期あるいは2学期に開講して基礎的理論を教授する。
- (3) 「演習」は1年次2学期の開講とし、「特論」で修得した理論的基盤を発展させた方法論や技術論を体験や実習を通して学ぶと共に、最新文献の調査分析を行う。
- (4) 「実践演習」では、看護領域専門分野における高度な実践応用能力を涵養するために、教育医療施設での実践的演習を行う。
- (5) 2年次に通年開講する「保健科学研究」、「看護科学研究」では、指導教員の下で修士論文

テーマに沿った個別的研究を展開し、データをまとめて修士論文を作成する。また、「実践看護研究」においては、修士論文に代えて、指導教員の下で事例または調査研究を実施し、その結果を特定課題研究報告書としてまとめることができる。

2) 修了要件

- (1) 本課程に2年以上在学して、次項に記載の各コース・科目群に定められた単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文又は特定課題研究報告書の審査及び最終試験に合格した者に学位を授与する。最終試験は公開での口頭発表とし、質疑応答内容について審査する。
- (2) 各コース・科目群の修了に必要な単位は次のとおりである。

・保健科学コース・全科目群	30 単位
・看護学コース　・看護学科目群	30 単位
・看護学コース　・公衆衛生看護学科目群及び助産学科目群	36 単位
・看護学コース　・高度実践看護学科目群	56 単位
- (3) 在学期間については、学院教授会が優れた業績を上げたと認定した者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

3) 学位授与

本課程を修了した者に対し、本学学位規程に定めるところにより、修士（保健科学）又は修士（看護学）の学位を授与する。

4) 国家試験受験資格

大学院保健科学院修士課程保健科学専攻看護学コースにおいて、公衆衛生看護学科目群で保健師、助産学科目群で助産師の国家試験受験資格が取得できます。

5) 修了後の進路

北海道大学大学院保健科学院博士後期課程への進学のほか次のとおりである。

(1) 保健科学コース

- ① 各種医療機関の高度医療専門職者・指導者（技師長、副技師長、主任など）
- ② 製薬企業、食品企業、検査機器・試薬メーカー、介護福祉機器メーカーにおける研究開発者

(2) 看護学コース

- ① 看護師長及び地域看護における企画力を持つ管理者
- ② 指導的役割を担う専門性の高い実践能力を持つ看護師・助産師
- ③ 保健行政の企画立案に携わる保健師
- ④ 看護系教育機関の教員

主任指導教員の主な研究内容及び連絡先(保健科学院 修士課程)

保健科学専攻

平成26年4月1日現在

コース	コース科目群 (教育研究領域)	指導教員 ・ 氏名	主たる研究内容
保健科学 コース	生体量子科学	教授 山本 徹	1) 脳機能賦活領域の微細構造解析 2) MRアーチファクトフリーのインプラントの開発 3) MRIにおける生体高周波渦電流の解析とその応用
		教授 加藤 千恵次	1) 医用画像解析プログラムの開発: 病理組織像や超音波像等の画像解析 2) 医用画像解析プログラムの開発: 断層画像再構成法の研究 3) 医用画像解析プログラムの開発: 動態画像のコンパートメントモデル解析
		教授 伊達 広行	1) 生体組織における放射線エネルギー付与過程シミュレーション 2) 生体の放射線被曝効果に関する統計的解析と損傷動態の解明 3) 放射線治療における最適分割照射の検討
		教授 西岡 健	1) 肺・肝臓などの動く腫瘍への放射線照射方法の探究 2) 臓器別に最新治療が何か文献検索を中心とした研究
		教授 神島 保	1) 超音波やMR画像による炎症性関節疾患の活動性定量評価に関する研究 2) 超音波装置の機器間キャリブレーションに関する研究 3) 単純写真による病変抽出に関する研究 4) 仮想的臓器体積測定
		准教授 坂田 元道	1) 画像による生体微細構造の解析 2) 側頭骨画像技術と画像診断 3) 画像技術による形態構造学的研究
	生体情報科学	特任教授 森山 隆則	1) 骨髄腫蛋白質の新規特性解析法の開発 2) 脳由来神経栄養因子(BDNF)の血中での存在様式の解明と臨床的意義に関する研究 3) ローヤルゼリーのプロテオーム解析と生理活性に関する研究
		特任教授 小林 清一	1) 自己免疫疾患の発症機序に関する分子生物学的研究 2) 可溶性Fasの発現制御機構に関する研究 3) 食物アレルギーに対する高感度定量法の開発
		教授 三神 大世	1) 心疾患患者の左室拡張機能の非侵襲的評価 2) 心臓形態・機能の加齢変化の心エコーによる検討 3) 超音波による動脈硬化と血管機能の評価
		教授 山口 博之	1) ヒト病原細菌の細胞内持続感染機構とその分子基盤 2) 自然環境におけるヒト病原細菌の適応戦略とその分子機構 3) 環境微生物共生系モデルの構築とモニタリングシステムの開発
		教授 石津 明洋	1) 血管炎をはじめとする自己免疫疾患の病因・病態解析 2) ジェノミクス・トランスクリプトミクスを用いた感染症・炎症疾患の病態解析 3) 免疫担当細胞間の相互作用に関する研究
		准教授 政氏 伸夫	1) 血液塗抹標本の染色と形態観察に関する医療工学的研究 2) 検査検体の長時間保管に関する医療工学的研究 3) ヘモグロビンF陽性赤血球に関する研究
		准教授 恵 淑萍	1) 過酸化脂質代謝に関する研究 2) 生理活性物質に関する研究 3) バイオマーカーの探索
	リハビリテーション科学	教授 山中 正紀	1) 膝前十字靭帯損傷の予防に関する研究 2) 体幹の安定性と体幹深部筋の機能に関する研究 3) 変形性膝関節症における姿勢制御に関する研究
		教授 浅賀 忠義	1) 姿勢制御のメカニズムに関する研究 2) 運動学習と定量的評価に関する研究 3) 加齢および神経疾患のバランス障害に関する研究
教授 遠山 晴一		1) 運動器リハビリテーションに関する研究 2) アスレチックリハビリテーションに関する研究 3) 腱・靭帯組織の生物学および生体力学	

コース	コース科目群 (教育研究領域)	指導教員名 ・氏名	主たる研究内容
保健科学 コース	リハビリテーション科学	教授 前島 洋	1) 運動・学習にともなうシナプス機能修飾に関する研究 2) 高齢者のヘルスプロモーションと退行変性予防に関する研究 3) 高齢者における姿勢制御と転倒予防に関する研究
		教授 八田 達夫	1) 車いす・いすシーティング（アクティブバランスシーティング）の開発研究 2) 青年期障害者の雇用・就労支援，障害学生支援に関する研究 3) 作業遂行発達支援のための実践的研究
		教授 井上 馨	1) 生理的多型性を用いた高齢者の身体活動の研究 2) 日常生活における運動器の機能解剖学的研究 3) 高眼圧モデルマウスを用いた緑内障の研究
		教授 傳田 健三	1) 統合失調症・気分障害・神経症に対するリハビリテーション 2) 自閉症・アスペルガー障害・ADHDに対するリハビリテーション 3) 児童・青年期精神障害に対する新しいリハビリテーションの探求
		教授 村田 和香	1) 作業療法の理論と実践に関する研究 2) 老年期作業療法の効果に関する研究 3) 健康およびウェル・ビーイングへの作業の寄与に関する研究
		准教授 境 信哉	1) 大脳における視覚のメカニズムに関する研究 2) 高次脳機能障害患者を対象としたリハビリテーション効果研究とドライビング評価研究 3) 大脳性視覚障害児の視覚評価とリハビリテーション
		准教授 寒川 美奈	1) スポーツ傷害の発生メカニズムと予防に関する研究 2) 運動療法の効果に関する研究 3) ウォーミングアップ効果に関する研究
	健康科学	教授 千葉 仁志	1) リポ蛋白，過酸化脂質，生理活性脂質の研究 2) バイオマーカー・検査試薬・バイオセンサーの開発 3) 機能性食品の研究
		教授 齋藤 健	1) 環境ストレスによる次世代影響とその予防 2) ミネラルおよびサプリメント代謝と健康 3) 老化を制御する環境因子の同定とその機構解明
		教授 横澤 宏一	1) 電気生理学的手法による感情やストレスの定量計測に関する基礎的研究 2) ヒトの認知機能の無侵襲計測とイメージング 3) 高次脳機能情報の医工学的応用に関する研究
		教授 小笠原 克彦	1) 医療プロセスおよび医療連携フローに関する研究 2) 遠隔保健システムの開発及び評価に関する研究 3) 医療資源・医療技術の社会経済評価に関する研究
		教授 山内 太郎	・ 人類進化と環境適応の視座から個人／集団の健康を探究する 1) 子どもの健康：成長，栄養，体力，ライフスタイル 2) 人類生態学：栄養摂取・身体活動・体格・行動パターン 3) 国際保健学：生態学的健康観に基づく地域社会・住民の基本的ニーズとQOL
		准教授 大槻 美佳	1) 高次脳機能障害（失語、失行、失認、記憶障害等）の臨床研究 2) 機能画像、関連事象電位等を用いた高次脳機能のメカニズム解明 3) 言語の脳内メカニズムに関する研究

コース	コース科目群 (教育研究領域)	指導教員名 ・	主たる研究内容
看護学 コース	看護学 公衆衛生看護学 助産学 高度実践看護学	教授 良村 貞子	1) 看護職者の法的責任に関する日米比較 2) 学生の実践能力を高める教育方略に関する研究 3) 保健医療福祉における専門職者間の連携と役割分担に関する研究
		教授 佐伯 和子	1) 地域看護アセスメントと政策に関する教育方法の開発 2) 地域保健従事者のキャリア発達と現任教育 3) 高齢者の健康とヘルスプロモーション
		教授 佐川 正	1) 札幌市の産婦人科救急における助産師による電話相談事業の現状と課題 2) 北海道における助産師外来の実態調査 3) フリースタイル分娩が産科的諸因子に与える影響に関する研究
		教授 佐藤 洋子	1) 小児の自律性を支援する看護スキルの開発 2) 小児に対する情報提供と看護スキルに関する研究 3) 健康問題を有する小児と家族の支援に関する研究
		教授 尾崎 倫孝	1) ストレスに対する生体応答と適応におけるメカニズムの解析 2) 様々な肝病態の分子生物学的解析と全身状態への影響(細胞・臓器機能および全身状態に関する包括的研究) 3) 「光」を利用した非侵襲的・経時的生体イメージングによる生体機能・生体環境評価と医療への応用
		准教授 宮島 直子	1) 精神看護技術の開発と効果に関する研究 2) 看護職者のメンタルヘルスに関する研究 3) 看護場面におけるコミュニケーション・チャンネルの研究
		准教授 野口 眞貴子	1) 出産とその後の母子の健康に関するパースコホート研究 2) 途上国の母子保健に関する国際保健学研究 3) 出産体験に関する質的、量的研究
		准教授 大槻 美佳	1) 認知機能(高次脳機能)に関する研究 2) 各種神経疾患の認知機能(高次脳機能)に関する研究
		准教授 安積 陽子	1) 乳幼児の睡眠覚醒リズムの発達に関する研究 2) 極低出生体重児とその母親への支援に関する研究 3) 助産師教育に関する研究
		准教授 矢野 理香	1) 看護技術の成果モデル開発と効果に関する研究 2) 熟練看護師の技の可視化に関する研究 3) 看護技術教育の方法論と効果に関する研究
		准教授 鷺見 尚己	1) 退院支援、移行ケア、地域連携におけるプログラム開発と標準化 2) 外来看護、継続看護におけるケアマネジメントに関する研究 3) がん患者とその家族への療養生活支援に関する研究
准教授 平野 美千代	1) 要支援高齢者の社会活動に関する支援プログラムの開発 2) 行政機関に勤める保健師の実践に関する研究		

授業科目担当教員一覧(保健科学院 修士課程)

平成26年4月1日現在

コース	科目群	授業科目名	担当教員氏名	単位	学年／開講期
専攻共通基礎科目		医療倫理・リスクマネジメント特論	小笠原克彦, 岩本幹子, 良村貞子	2	1, 2 / 1学期
		実験研究方法特論	齋藤 健, 山本 徹, 千葉仁志, 石津明洋, 横澤宏一, 布田博敏	2	1 / 通年
		事例研究方法特論	八田達夫, 佐川 正, 佐藤洋子	2	1 / 通年
		質的研究方法特論	村田和香, 荒木奈緒	2	1 / 通年
		調査研究方法特論	山内太郎, 伊藤陽一, 鷺見尚己	2	1 / 通年
		医療統計学・多変量解析演習	小笠原克彦, 西本尚樹	2	1, 2 / 1学期
		先端検査医学特論	山口博之, 森山隆則, 政氏伸夫, 小林清一, 惠 淑萍, 清水 力	2	1, 2 / 1学期
		がん・再生医療特論	尾崎倫孝, 西岡 健	2	1, 2 / 1学期
		機能解剖学特論	井上 馨	2	1 / 1学期
		健康科学特論	齋藤 健, 山内太郎, 千葉仁志, 尾崎倫孝, 横澤宏一, 小笠原克彦, 布田博敏, 大槻美佳	2	1, 2 / 1学期
		スポーツ・体力科学特論	瀧澤一騎, 寒川美奈	2	1, 2 / 1学期
		食品機能学特論	原 博	2	1, 2 / 1学期
		栄養薬理学特論	井関 健	2	1, 2 / 1学期
		チーム医療特論	良村貞子, 青柳道子	2	1, 2 / 1学期
		フィジカルアセスメント特論	岩本幹子, 鷺見尚己, 溝部佳代	2	1, 2 / 1学期
		病態生理学特論	尾崎倫孝	2	1, 2 / 1学期
		臨床薬理学特論	佐川 正, 大槻美佳	2	1, 2 / 1学期
保健科学コース	生体量子科学科目群	医用物理工学特論	山本 徹	2	1, 2 / 1学期
		医用量子線工学特論	伊達広行	2	1, 2 / 1学期
		医用理工学演習	山本 徹, 伊達広行	2	1 / 2学期
		機能画像解析学特論	加藤千恵次	2	1, 2 / 1学期
		機能画像解析学演習	加藤千恵次	2	1 / 2学期
		臨床画像技術学特論	神島 保	2	1, 2 / 1学期
		生体画像構造学特論	坂田元道	2	1, 2 / 1学期
		放射線治療技術学特論	西岡 健	2	1, 2 / 1学期
		放射線技術学演習	坂田元道, 神島 保, 西岡 健	2	1 / 2学期
	生体情報科学科目群	循環機能検査学特論	三神大世	2	1 / 1学期
		超音波画像計測学演習	三神大世	2	1 / 2学期
		検査血液学特論	政氏伸夫	2	1, 2 / 1学期
		検査血液学演習	政氏伸夫	2	1 / 2学期
		代謝分析化学特論	惠 淑萍	2	1, 2 / 1学期
		代謝分析化学演習	惠 淑萍	2	1 / 2学期
		感染病態学特論	山口博之	2	1, 2 / 1学期
		感染病態学演習	山口博之	2	1 / 2学期
免疫病態学特論		石津明洋, 小林清一	2	1, 2 / 1学期	
免疫検査学演習	小林清一	2	1 / 2学期		
リハビリテーション科学科目群	検査管理開発学特論	森山隆則	2	1, 2 / 1学期	
	検査管理開発学演習	森山隆則, 吉田 繁	2	1 / 2学期	
	応用病理検査学演習	石津明洋	2	1 / 2学期	
	運動制御学特論	浅賀忠義, 前島 洋	2	1, 2 / 1学期	
	運動制御学演習	浅賀忠義, 前島 洋	2	1 / 2学期	
	運動器障害学特論	山中正紀, 遠山晴一, 寒川美奈	2	1, 2 / 1学期	
	運動器障害学演習	山中正紀, 遠山晴一, 寒川美奈	2	1 / 2学期	
	神経系運動機能障害学特論	高橋光彦	2	1, 2 / 1学期	
	神経系運動機能障害学演習	高橋光彦	2	1 / 2学期	
人間作業行動学特論	井上 馨, 村田和香	2	1, 2 / 1学期		
人間作業行動学演習	井上 馨, 村田和香	2	1 / 2学期		
発達期障害・高次脳機能障害作業適応学特論	八田達夫, 境 信哉	2	1, 2 / 1学期		
発達期障害・高次脳機能障害作業適応学演習	八田達夫, 境 信哉	2	1 / 2学期		
精神障害リハビリテーション学特論	傳田健三, 河野仁志	2	1, 2 / 1学期		
精神障害リハビリテーション学演習	傳田健三, 河野仁志	2	1 / 2学期		

コース	科目群	授業科目名	担当教員氏名	単位	学年／開講期
保健科学コース	健康科学科目群	環境健康科学特論	齋藤 健	2	1, 2 / 1学期
		環境健康科学演習	齋藤 健	2	1 / 2学期
		人類生態学特論	山内太郎	2	1, 2 / 1学期
		人類生態学演習	山内太郎	2	1 / 2学期
		代謝バイオマーカー特論	千葉仁志	2	1, 2 / 1学期
		代謝バイオマーカー演習	千葉仁志	2	1 / 2学期
		機能情報計測学特論	横澤宏一, 未定	2	1, 2 / 1学期
		機能情報計測学演習	横澤宏一, 未定	2	1 / 2学期
		保健情報科学特論	小笠原克彦	2	1, 2 / 1学期
		保健情報科学演習	小笠原克彦	2	1 / 2学期
		高次脳機能障害学特論	大槻美佳	2	1, 2 / 1学期
		高次脳機能障害学演習	大槻美佳	2	1 / 2学期
		保健科学研究	山本 徹, 加藤千恵次, 伊達広行, 西岡 健, 神島 保, 森山隆則, 小林清一, 三神大世, 山口博之, 石津明洋, 山中正紀, 浅賀忠義, 遠山晴一, 前島 洋, 八田達夫, 井上 馨, 傳田健三, 村田和香, 千葉仁志, 齋藤 健, 横澤宏一, 小笠原克彦, 山内太郎, 坂田元道, 政氏伸夫, 惠 淑萍, 大槻美佳, 高橋光彦, 境 信哉, 寒川美奈, 松尾淳司, 堤 香織, 笠原敏史, 齊藤展士, 吉田 繁, 岸上博俊	10	1, 2 / 通年
		看護学コース	看護学科目群	看護管理学特論	良村貞子, 岩本幹子
看護管理学演習	良村貞子, 岩本幹子			2	1 / 2学期
看護技術学特論	矢野理香			2	1, 2 / 1学期
看護技術学演習	矢野理香			2	1 / 2学期
療養生活支援システム看護学特論	鷺見尚己, 尾崎倫孝, 溝部佳代, 佐藤三穂			2	1, 2 / 1学期
療養生活支援システム看護学演習	鷺見尚己, 尾崎倫孝, 溝部佳代, 佐藤三穂			2	1 / 2学期
がん看護学特論	鷺見尚己, 青柳道子, 尾崎倫孝, 溝部佳代, 佐藤三穂			2	1, 2 / 1学期
がん看護学演習	鷺見尚己, 青柳道子, 尾崎倫孝, 溝部佳代, 佐藤三穂			2	1 / 2学期
地域看護学特論	佐伯和子, 平野美千代, 青柳道子			2	1, 2 / 1学期
地域看護学演習	佐伯和子, 平野美千代, 青柳道子			2	1 / 2学期
看護教育学特論	良村貞子, 矢野理香			2	1, 2 / 1学期
看護教育学演習	良村貞子, 矢野理香			2	1 / 2学期
高次脳機能障害・認知症看護学特論	大槻美佳			2	1, 2 / 1学期
高次脳機能障害・認知症看護学演習	大槻美佳			2	1 / 2学期
精神看護学特論	宮島直子			2	1, 2 / 1学期
精神看護学演習	宮島直子			2	1 / 2学期
国際母子看護学特論	野口真貴子, 佐藤洋子, 安積陽子			2	1, 2 / 1学期
国際母子看護学演習	野口真貴子, 佐藤洋子, 安積陽子, 荒木奈緒			2	1 / 2学期
母子看護学特論	佐藤洋子, 佐川 正, 安積陽子, 野口真貴子	2	1, 2 / 1学期		
母子看護学演習	佐藤洋子, 佐川 正, 安積陽子, 野口真貴子	2	1 / 2学期		

コース	科目群	授業科目名	担当教員氏名	単位	学年／開講期
看護学コース	公衆衛生看護学科目群	公衆衛生看護学特論	佐伯和子, 平野美千代	2	1／1学期
		公衆衛生看護学演習	佐伯和子, 平野美千代	2	1／2学期
		公衆衛生看護学実践演習	佐伯和子, 平野美千代, 本田 光	8	1／2学期, 2／1学期
		公衆衛生看護学原論	佐伯和子, 加倉雅代	2	1／1学期
		健康生活支援論	平野美千代, 村田和香, 田畑真紀子	2	1／1学期
		地域健康組織活動論	佐伯和子, 宮崎隆志	2	1／1学期
		産業看護論	齋藤 健, 平野美千代, 宮崎由美子	1	1／2学期
		地域健康危機管理論	平野美千代, 山口 亮	2	1／2学期
		保健医療福祉行政論	佐伯和子, 廣田洋子, 宮本まゆみ	2	1／2学期
		公衆衛生看護活動演習Ⅰ	平野美千代, 本田 光, 安積陽子	2	1／1学期
		公衆衛生看護活動演習Ⅱ	平野美千代, 本田 光	2	1／2学期
		公衆衛生看護管理論	良村貞子, 佐伯和子, 深津恵美, 工藤裕子	2	2／1学期
		公衆衛生看護疫学演習	齋藤 健, 佐伯和子, 和泉比佐子, 本田光	2	1／1学期
		保健医療福祉公共政策論	佐伯和子, 中野知子	2	2／2学期
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	平野美千代, 本田 光	1	1／2学期
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	平野美千代, 本田 光	2	1／2学期
	公衆衛生看護学実習Ⅲ	佐伯和子, 本田 光	2	2／1学期	
	助産学科目群	助産学特論	安積陽子, 野口真貴子, 荒木奈緒, 佐川 正	2	1／1学期
		助産学演習	安積陽子, 野口真貴子, 荒木奈緒, 佐川 正	2	1／2学期
		助産学実践演習	安積陽子, 野口真貴子, 荒木奈緒, 佐川 正	8	1／2学期, 2／1学期
		ウイメンズヘルスト論	佐川 正	2	1／1学期
		リプロダクティブヘルスト論	野口真貴子, 安積陽子, 荒木奈緒	2	1／1学期
		助産対人関係論	荒木奈緒, 宮島直子	2	1／2学期
		助産診断・技術学特論	佐川 正	2	1／1学期
		助産診断・技術学演習Ⅰ	荒木奈緒, 安積陽子, 野口真貴子	2	1／1学期
		助産診断・技術学演習Ⅱ	安積陽子, 野口真貴子, 荒木奈緒	2	1／1学期
		乳幼児支援論	佐藤洋子, 荒木奈緒, 長和俊	2	1／2学期
		地域・国際母子保健学	野口真貴子	1	2／1学期
		助産マネジメント特論	良村貞子, 野口真貴子, 高室典子, 糀田リカ	2	1／2学期
		助産学実習Ⅰ	荒木奈緒, 野口真貴子, 安積陽子	7	1／2学期
		助産学実習Ⅱ	野口真貴子, 安積陽子, 荒木奈緒	2	2／1学期
	助産学実習Ⅲ	安積陽子, 野口真貴子, 荒木奈緒	2	2／1学期	
	高度実践看護学科目群	高度実践看護学特論	鷺見尚己, 尾崎倫孝, 青柳道子	2	1／2学期
高度実践看護学演習		鷺見尚己, 尾崎倫孝, 佐藤三穂	2	1／2学期	
高度実践看護診断・技術学Ⅰ		尾崎倫孝, 佐藤三穂, 下田智子	2	1／2学期	
高度実践看護診断・技術学Ⅱ		尾崎倫孝, 溝部佳代	2	1／2学期	
臨床薬理学演習		佐川 正, 大槻美佳	2	1／2学期	
高度実践看護学実践演習		鷺見尚己, 岩本幹子, 青柳道子, 溝部佳代, 佐藤三穂, 下田智子	2	1／2学期	
高度実践看護学実習Ⅰ		鷺見尚己, 岩本幹子, 溝部佳代	4	1／2学期	
高度実践看護学実習Ⅱ		溝部佳代, 下田智子	4	2／1学期	
高度実践看護学実習Ⅲ		佐藤三穂, 青柳道子	4	2／1学期	
高度実践看護学実習Ⅳ	青柳道子, 鷺見尚己	2	2／1学期		
看護科学研究	良村貞子, 佐伯和子, 佐川正, 佐藤洋子, 尾崎倫孝, 宮島直子, 野口真貴子, 大槻美佳, 安積陽子, 岩本幹子, 矢野理香, 鷺見尚己, 平野美千代, 溝部佳代, 荒木奈緒, 佐藤三穂, コリー紀代	10	1, 2／通年		
実践看護研究	良村貞子, 佐伯和子, 佐川 正, 佐藤洋子, 宮島直子, 野口真貴子, 安積陽子, 岩本幹子, 矢野理香, 鷺見尚己, 平野美千代, 荒木奈緒, 溝部佳代, 佐藤三穂, コリー紀代	8	2／通年		